

東北地方での大規模地震・津波災害を想定した 広域港湾BCP訓練を開催します。

東北広域港湾防災対策協議会は、「東北広域港湾機能継続計画」（以下、広域港湾BCP）の実効性を向上させるため、東北では初めての広域連携に関わる情報伝達訓練を、下記の通り開催します。

今回の訓練は、東北地方の大規模地震・津波災害時において被災港（仙台塩釜港（仙台港区））と支援港（酒田港）を想定し、災害発生時における関係者の行動手順を相互に確認し、行動を実行する上での課題を抽出するものです。

1. 訓練日時：令和2年1月29日（水） 14時00分～17時00分

2. 訓練実施場所（取材対応場所）

東北地方整備局 港湾空港部 A・B会議室（9F）
（宮城県仙台市青葉区本町3-3-1仙台合同庁舎B棟9F）

補足

訓練は、港湾空港部（災対本部）、塩釜港湾・空港整備事務所（被災港）、酒田港湾事務所（支援港）に会場を設け、3者にてTV会議システムを使用し訓練を行います。

3. 訓練内容：

（1）「航路啓開に必要な作業船団の広域調達」に関わる情報伝達訓練

- ・災害協定団体への支援要請
- ・被害状況調査
- ・優先復旧施設（岸壁・航路等）の決定
- ・災害協定団体への出動要請

（2）「コンテナ貨物の代替輸送」に関わる情報伝達訓練

- ・被害状況の情報共有
- ・代替輸送港湾との情報共有
- ・代替輸送の開始

4. 主催及び参加団体：別紙2参照

5. 取材について：

取材をご希望の報道機関の方は、別紙3「取材申込書」により1月28日（火）12時00分までに事前申込みをお願いいたします。

※ 当日の取材は、開会の挨拶までとし、以降、報道関係者の皆様におかれましては、ご退席をお願いします。

取材応答につきましては、開会の挨拶終了後に対応させていただきます。

発表記者會 宮城県政記者会 東北電力記者會 東北専門記者會
酒田記者クラブ

【問合せ先】国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課

電話 022(716)0024 FAX 022(716)0018

課長 照井 和幸

課長補佐 齋藤 昌宏

用語の説明

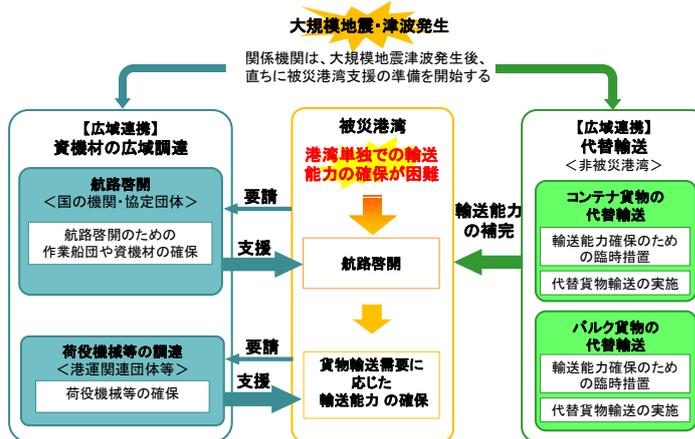
【港湾BCP】

大地震等の自然災害等が発生した場合に、港湾の重要機能を最低限維持するとともに、早期復旧を可能とするために、自然災害等の発生後に行う具体的な対応と、平時に行うマネジメント活動等を港湾関係者の合意に基づいて定める計画。
 東北地方では、平成27年度までに重要港湾以上全ての港湾にて港湾BCPを策定済み。



【東北広域港湾機能事業継続計画（広域港湾BCP）】

大規模災害時の東北地方における港湾の広域連携を効果的に機能させるため、大規模災害時の港湾機能の復旧（航路啓開等）に必要な資機材の広域調達及びコンテナ貨物等の代替輸送の相互連携の取り組みについて考え方と各機関の役割・事前対策の方向性を示した計画。



訓練イメージ



主催及び参加団体

(1) 主催

- 東北地方整備局 港湾空港部

(2) 参加団体

- 第二管区海上保安本部
- 宮城海上保安部
- 酒田海上保安部
- 横浜税関仙台塩釜税関支署
- 東京税関酒田税関支署
- 宮城県
- 山形県
- 東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所
- 東北地方整備局 酒田港湾事務所
- 一般財団法人 日本埋立浚渫協会 東北支部
- 一般財団法人 日本海上起重技術協会 東北支部
- 東北港湾空港建設協会連合会
- 仙台塩釜港湾機能継続協議会
- 酒田港湾機能継続協議会

(順不同)

国土交通省東北地方整備局
港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 宛
申込先(FAX)022-716-0018

取材申込書

取材を希望する場合は、この様式により、FAXにてお申込み下さい。
申込み締切は、1月28日(火)12時00分とさせていただきます。

令和 年 月 日

所属記者会(所属する記者会に○をつけて下さい。)		
・宮城県政記者会 ・酒田記者クラブ	・東北電力記者会	・東北専門記者会
会社名及び部署名		
取材者の役職・氏名・連絡先・人数		
役 職	氏 名	
連絡先(携帯番号等)		
.....		
人 数		

上記のとおり、取材を申し込みます。